

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	中部大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	チュウブダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	愛知県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップA(ビジネスマナー研修)・インターンシップB(就業体験) ※A受講生のみがBに参加出来る
	学部・研究科等名	全学部全学科 ※一部国家資格取得を奨励している学科を除く
	担当教職員名・役職	担当教員名:細川 健治 役職:キャリア部長補佐
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	317	
受入企業等数	280	
受入企業等名	清水建設株式会社・サンハウス食品株式会社・湯浅系道工業株式会社・名鉄観光サービス株式会社 など	
インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 2.有給インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ 11.その他	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	単位認定の対象外ではあるが、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の取組みとして「報酬型インターンシップ」を実施している。詳しくはこちら https://www3.chubu.ac.jp/paid_internship/	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) 3.その他
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	建設業における施工現場の見学および業務を、外泊を伴う地域で実施し、社員の方達と同じ生活リズムで体験する。
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	製造業の就業体験として、設計のソフトを用いた設計開発業務、製造部門の生産技術業務、間接部門の事務業務など各部署の仕事を一通り経験し、製造業の仕事全般を体験する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している 9.その他
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	学内にインターンシップの推進を目的とした「インターンシップ推進委員会」を設置し、各学科の担当教員と職員が連携し、インターンシップ教育プログラムの調整や支援など推進に必要な事項を実施している。
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	3
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年次の春学期にインターンシップA(ビジネスマナー研修)を履修し、Aの単位認定を受けた学生の中で就業体験を希望する学生を対象に、企業・団体を紹介あるいは学生本人が探し、マッチングした学生をインターンシップB履修希望者として認定する。なお、単位数はAが1単位、Bが2単位となり、全て認定されることで3単位となる。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	昨年度のインターンシップ参加者に、履修学生の前で体験談を発表してもらう。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全6回的事前学習の中で、インターンシップの概要説明を第1回、働くということの理解と適切な身だしなみについての指導を第2回、敬語や第一印象の重要性についての指導を第3回、機密情報の取扱いと職場内コミュニケーションの指導を第4回、報告・連絡・相談や挨拶についての指導を第5回、これまでの振り返りとインターンシップの目標設定等を第6回で行う。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップで学んだことをインターンシップAで指導した講師と個別で振り返り、FBを受ける「個別FB面談」、インターンシップ参加者で集まりグループワークで振り返る「事後研修会」、インターンシップの受入先企業の方を招いて、代表者が成果を発表する「報告会」を実施している。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中、教職員でインターンシップ受入企業(特に、始めて受け入れを実施される企業や、過度に不安に感じている学生が参加をする企業等)を訪問し、企業担当者と学生双方に状況確認を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップA履修時、インターンシップA終了時、インターンシップB終了時、最後の報告会を終えた後等に、それぞれアンケートや報告書の提出を義務付けており、学生の意識・意欲・学修状況等の変遷を確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間実施の企業に2社参加し、計10日間 など
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業・団体が主体で行う就業体験をインターンシップと認定しており、10日間以上の参加が単位認定対象となる。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 6.企業と協働して、PDCAを実施している

㉔	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ生の評価を企業側にも評価シートを用いてつけていただき、個別FB面談時にその評価を講師から伝えることで、学生自身が今後の学生生活をどう過ごしていくかを考える情報の一つとして活用している。また、インターンシップ受入企業から大学に対しての意見をインターンシップB終了時に伺い、次年度のプログラム設計に一部反映させている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/syllabusv3/slbsskwr.do ※「インターンシップA」「インターンシップB」ともに対象学科のカリキュラムが全て記載されているが、いずれの学科でも内容は統一されている。
問い合わせ先	大学等名	中部大学
	担当部署名	学生教育部 キャリア支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	栴井 健太郎
	電話番号	0568-51-5198
	メールアドレス	chubu-internship@office.chubu.ac.jp